

平成23年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	低分子量G蛋白質 Rho の情報伝達と生理的意義の研究
研究代表者名 (所属・職)	成宮 周（京都大学・大学院医学研究科・教授）

評価意見

研究代表者は、低分子量G蛋白質 RhoA GTPase について、そのシグナル伝達機構と生理機能解析を行っており、本研究においては、特に、個体レベルでの生理機能解析を行い、病態への関与について幾つかの知見を得ている。そのうち、特に、Rho GTPase がその下流エフェクターの mDia を介して v-Src による腫瘍形成に重要な役割を果たしていることを明らかにしている。このことは、Rho GTPase シグナル伝達系をターゲットとした新たな抗がん剤の開発の可能性を示唆しており、社会的還元につながる可能性が期待できる。さらに、Rho GTPase は神経発生や血管新生においても重要な役割を果たしている可能性を示唆しており、本研究は、研究期間終了後もなお進展している様子が窺える。

本研究における共同研究者については、研究機関の要職に就いていることから、若手研究者育成にも貢献しており、生命科学研究領域の発展に大きく寄与している研究であると、極めて高く評価できる。